

セミナー参加の常識
—生産性向上を目指して—

一般社団法人 栃木県生産性本部
会長 林 明夫
(開倫塾 塾長)

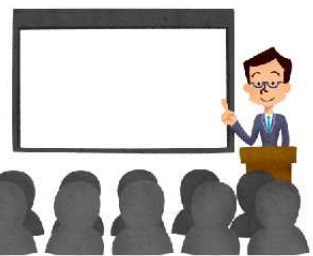
1. <自覚をもって学ぼう>

- (1)この度は、一般社団法人 栃木県生産性本部主催のセミナー・研修会に御参加いただき、ありがとうございます。心から歓迎申し上げます。
- (2)栃木県生産性本部の1つ1つのセミナー・研修会は、すべて、御参加の皆様のスキルアップ、経営能力の向上、潜在能力強化によって、皆様の企業や団体、業界、栃木県の生産性向上を目的に行われるものです。
- (3)まずは、皆様の能力強化による生産性向上という目的を、しっかり自覚なさり、学んでくださいますよう、お願い申し上げます。



2. <テキスト・資料の予習を>

- (1)「セミナー・研修会会場」には、スタート時間の約30分前に到着し、トイレなどを済ませて着席できるよう、余裕をもって出発することを心掛けてください。30分前に着席できるのも大切な能力です。
- (2)セミナー開始30分前に到着したら、本日のテキスト・資料に目を通し、「予習」をしてください。
- (3)一語一語、ゆるがせにしないでお読みください。語句の意味がわからない場合には、辞書やインターネットで調べましょう。そして、何がよくわからないかをはっきりさせて、セミナーに臨んでください。
- 予習は何のために行うか。「よくわからないことを明確にし、問題意識をはっきりさせてセミナーに臨む」ことが、「予習の目的」です。



3. セミナー中は、講師の先生の指示通り御参加ください。

4. セミナー終了後は、<「復習」と「定着」を>

- (1)セミナー終了後は、その日の「テキスト」「教材」「ノート」などを、その日のセミナーを思い出しながらゆっくり読み直し、「復習」し、内容の理解に励んでください。
- 「意味」のよくわからない「語句」は、辞書やインターネットで調べる。
- 調べた内容は、テキストやノートに書き写し、その場で覚えましょう。「ことばは力」です。身に着けている「語句の数」を増やしましょう。
- (2)十分「理解」できたら、「テキスト」や「教材」「ノート」を、全部「身に着ける」、「スミスミまで覚え」「定着」させることが大事です。

(3) <定着のための3大練習>…身に着ける、覚えるためには、次の3つの練習が役立ちます

- ①「音読練習」 …… 声を出してスラスラ言えるようになるまで読む「音読練習」
 - ・大切なことは、何も見ないで言えるまでに…「暗唱」を!
- ②「書き取り練習」 …… 教科書や新聞の書体「楷書(かいしょ)」で書き順も含めて正確に書けるようになるまで「書き取り練習」
 - ・大切なことは、何も見ないで書けるまでに…「暗記」を!
- ③「計算・問題練習」 …… 大切な「計算や問題」は、見た瞬間にパッパッパッと正解が出るまで練習を!

5. <応用>…「業務・仕事で役立つ」のが「応用」

本日学んだことを、仕事や課題解決にどう用いるか、その手順・プロセスを考えましょう。

(1) <課題解決のための手順>

- ①「問題の発見」 …… 「何が問題か」をはっきりさせる
- ②「原因の推定」 …… 「本質の原因は何か」を推定する
- ③「応急措置」 …… 「では、とりあえずどうしたらよいか」を考える
- ④「制度変更」 …… 「ゆくゆくはどのようにシステムを変えたらよいか」を考える

(2) このためには<ベストプラクティスのベンチマーク>を

- ①「社内ベストプラクティスのベンチマーク」
 - ②「同業他社のベストプラクティスのベンチマーク」
 - ③「異業種のベストプラクティスのベンチマーク」
- 「ベンチマーク」とは、「ベストプラクティス」から「素直な心で学ばせていただくこと」です。

(3) あとは、<「PLAN」「DO」「CHECK」「ACTION」>、
<「実験」「観察」「分析」>あるのみ!



6. <おわりに>このセミナーを「生産性向上」に結び付けよう!

(1) 「生産性向上」に向け、「分母(IN PUT)」の適正化・改善と「分子(OUT PUT)」のために、顧客価値の極大化が大切です。この取り組みのために、是非、生産性本部のセミナーの最大活用をお勧めします。

(2) しかし、現実には厳しく、「経営数値の改善」は困難を伴います。生産性本部のセミナーや研究会を通じて、社内や団体内はもちろん、社外や異業種の皆様とのコミュニケーションを図り、「励まし合う仲間づくり」をお勧めします。

○同じセミナーや研修会に、毎年、トップを含め社内の同じメンバーで参加し、問題意識や目標を共有化することもお勧めします。

○セミナーから帰って、実行に移すときには、「志」や「問題意識」を同じくする仲間と一緒にの方がやりやすいためです。

(3) 最後に、「日本経営品質賞」の栃木県版である「栃木県経営品質賞」、更には、「日本経営品質賞」に取り組み、「卓越した業績(Performance Excellence)」を目指していただくことを心からお勧めいたします。栃木県経営品質協議会を最大限御活用ください。



力を合わせてがんばりましょう!